

第7章 総社市医療費適正化推進委員会 こども部会 報告書概要

1. 目標数値

- (1) 医療費（公費負担分）を平成24年度決算額（2億5,775万8,750円）から1円でも削減する。理想的には、子どもの人口が変わらなければ、2億4,000万円台を維持できることを目指す。
- (2) 子どもの健康増進のための目標数値
- | | |
|---------------------------|-------|
| ① 定期予防接種率（ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン） | 95%以上 |
| 任意予防接種率（水痘・おたふくかぜ） | 60%以上 |
| ② 乳幼児健診未受診者の把握率 | 100% |
| ③ 就寝前の歯みがき実施率（小学生） | 95%以上 |

2. 目標達成のためのアクション

(ステージ1) ～無償化を維持するために～

- ・継続的かつ積極的な広報・啓発活動
- ・日本スポーツ振興センター災害共済給付制度利用の義務化
- ・医療機関での明細書発行
- ・「手洗い・うがい・歯みがき プロジェクト（仮称）」
- ・「早寝・早起き・家族で朝ごはん プロジェクト（仮称）」
- ・ワクチン接種率の向上
- ・乳幼児健診未受診者の100%把握
- ・歯みがき実施率の向上

3. 目標未達成時（平成24年度決算額を上回った時）の制度のあり方

(ステージ2) ～無償化を原則維持，運用のあり方を見直し～

- ・小学校4年生以上は償還払いに
- ・時間外診療部分の割増料金（保険診療外分）は自己負担に

(ステージ3) ～通院分は、所得に応じた負担に～

	通院	入院
所得制限を超えた世帯	就学前まで 無料	中学校3年生まで無料
一般の世帯	就学前まで 無料 小学校6年生まで 1割負担 (ただし、4年生以上は償還払い)	
低所得者 ひとり親世帯	小学校6年生まで 無料 (ただし、4年生以上は償還払い)	

4. 成果還元

平成24年度決算額から削減できた財源は、「子育て王国そうじゃ基金」へ積み立てを行い、子育て支援・教育の財源に充てることとする。

また、市民へのアンケート結果を踏まえ、「病気やケガをした場合」に税金を使うのではなく、「病気やケガをしないため」に税金を使う方向へと発想の転換を図り、健康に対して必要なコスト意識を持ってもらうとともに、予防接種への助成の充実などを図り、もって総社流子ども・子育ての支援を行うこととする。

5. まとめ

小児医療費公費負担制度を維持するためには、次の2点について、保護者に意識改革を求める必要がある。

- (1) 医療機関受診の際に窓口負担が無償で済むということは、その7～8割部分を保険者が、2～3割部分を市が負担しているからであり、医療に対するコストがゼロになっているものではないということを保護者自身が認識し、子どもの健康増進、適正受診に努めること。

- ⇒ (市の取組) ①適正受診への啓発活動、自己負担部分の見える化
②日本スポーツ振興センター災害共済給付制度の利用促進
③医療機関での明細書発行のお願い

(2) 病気になったら受診することから、病気を予防するために受診することへの転換、具体的には、ワクチン接種、歯科の定期健診などに積極的に努めること。

- ⇒（市の取組）①ワクチン接種率の向上（助成制度の充実）
②乳幼児健診未受診者の100%把握
③手洗い・うがい・歯みがきプロジェクト（仮称）
④早寝・早起き・家族で朝ごはんプロジェクト（仮称）
⑤歯みがき実施率の向上